

# 議会だより



よ〜いとさ〜のね〜（八千代区中野間貴船神社）

## 9月定例会

- **堅実な決算** しかし… ▶ 2〜
- **ごみのポイ捨てゆるしません** ▶ 6〜
- **入札制度改革へ** ほか ▶ 10〜
- **災害にそなえ川床整備を** など13人が質問 ▶ 12〜

# 況は続く

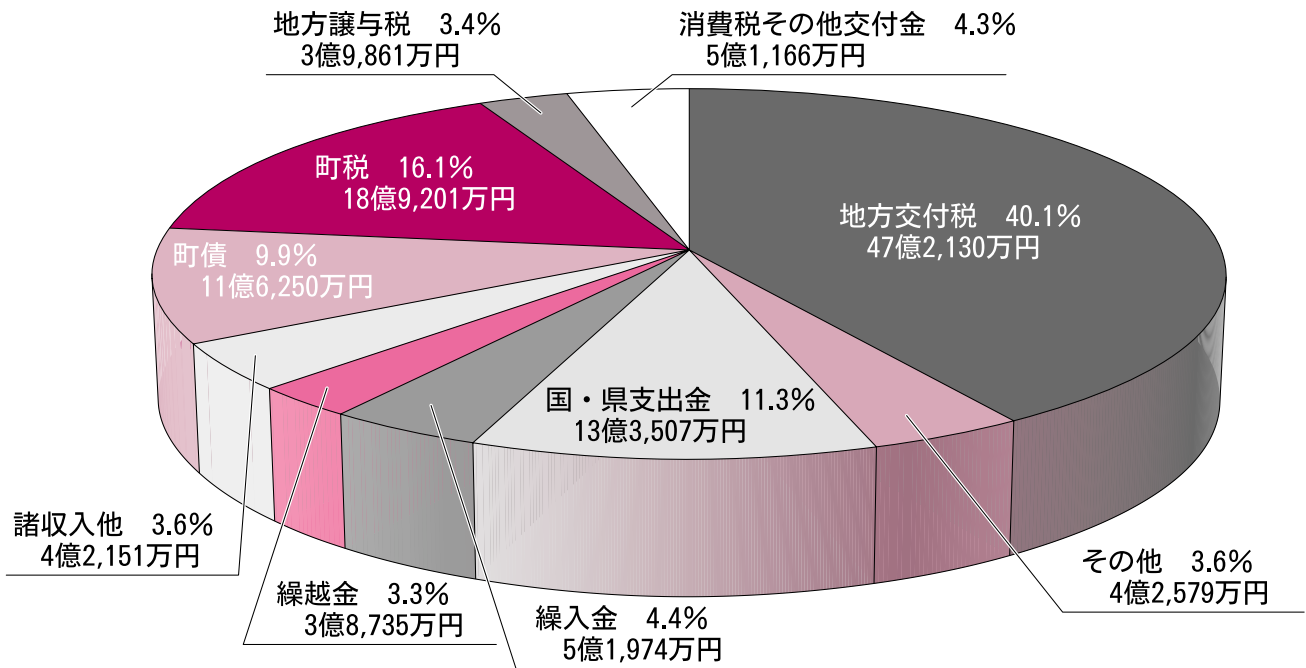
9月定例会は、9月7日から27日まで、21日間の日程で開催されました。

平成18年度一般会計、12特別会計決算は、議長・監査委員を除く16名で決算特別委員会を設置、付託され、慎重な審査の結果、賛成多数で認定しました。

また、平成19年度補正予算、条例などが提案され、すべて原案のとおり可決しました。

## 18年度一般会計

### 歳入(117億7,554万円)



その他、住宅使用料、保育料、下水使用料などの収入未済額も、年々増加にあります。早期の段階で対処すること、また、納付しやすい環境づくりが必要です。

町民税の納入未済額は1億4,100万円です。昨年よりは縮小しています。しかし、税源移譲により、今後、滞納額が増えていく心配があります。国保税の収入未済額は、2億円で、昨年より増えています。

### 滞納額が増加

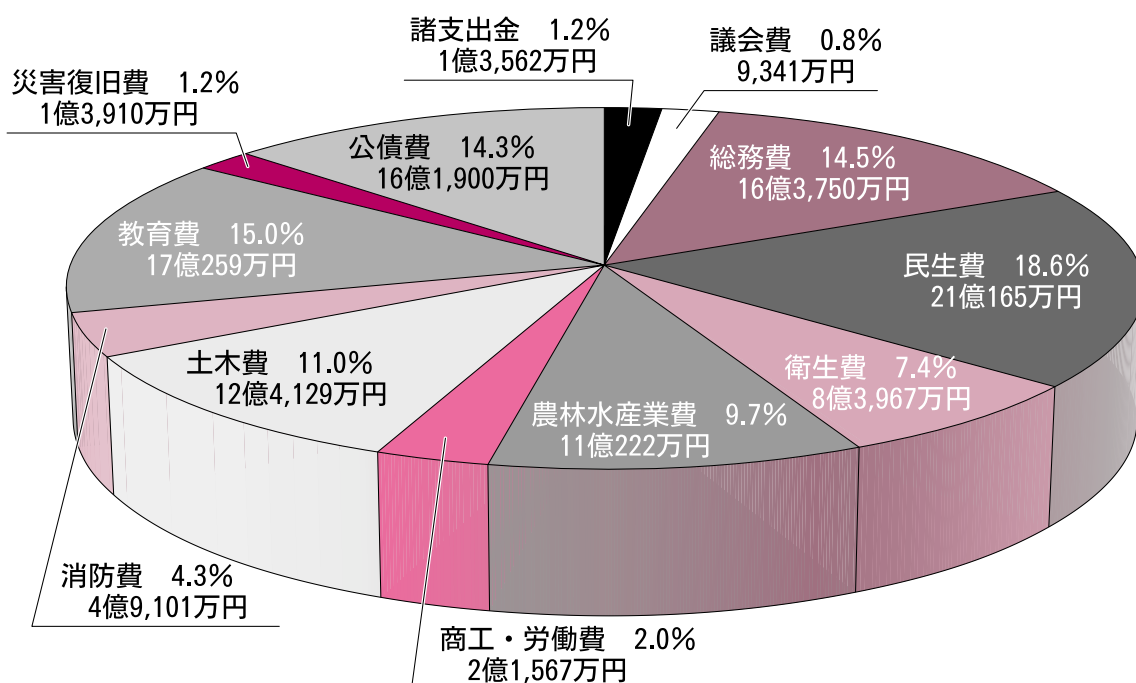
多可町初めての通年決算である平成18年度は、一般会計の歳入  
117億7,554万円  
歳出  
113億1,873万円  
差し引き4億5,681万円  
の次期繰越となっています。

# 堅実な決算

## しかし厳しい財政状

### 18年度一般会計

**歳出(113億1,873万円)**



### 平成18年度各特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計(直診)	1億0,534万円	1億0,426万円
国民健康保険特別会計(事業)	21億5,271万円	21億0,351万円
老人保険特別会計	22億9,757万円	22億7,448万円
介護保健特別会計	17億6,773万円	16億8,930万円
学校給食事業特別会計	2億3,646万円	2億3,626万円
診療所事業特別会計	1億4,917万円	1億4,422万円
住宅資金貸付事業特別会計	1,469万円	1,469万円
財産区特別会計	147万円	147万円
宅地造成事業特別会計	1,069万円	901万円
下水道事業特別会計	12億8,451万円	12億7,009万円
簡易水道事業特別会計	2億5,012万円	2億4,426万円
水道事業特別会計	1億9,794万円	3億4,157万円

## 福祉タクシー チケットの 見直しを

この制度は、70歳以上の方を対象に、タクシー初乗り運賃に代わるチケットを、最高で月4回、年48回分まで支給しているもので、その用途は限定されていません。

しかし、使い方や申請さえすれば、自家用車を運転している場合でも、もらえているなど、検討する点があることから、「対象年齢を引き上げは」などの意見が出ました。

しかし、この制度のもとの考え方は、2週間に一度の割合で薬を取りに行くことを想定して導入された制度です。また、お年寄りの閉じこもり防止、ひいては介護予防にもなるという視点から、いろいろな用途を認めるべきだとの意見で一致しています。



初乗り運賃を補助します

## 前納報奨金を どのように

前納報奨金制度は、町にとって

- 年度初期に余剰金ができ、一時借入れれせずに済む。
- 納付書を発行する事務が少なくなる。

住民にとっては、  
○金利より有利な報奨金が得られるので、多額納税者には有利というメリットがあります。

反面、町にとって  
○18年度には1,870万2,050円の報奨金を払っている。

住民にとっては、  
○サラリーマンは、個人住民税については恩恵を被らない。それゆえ不公平性が大きい。

○少額納税者には現実的とは思えない。(納税額4,000円以下は0円。納税額1万円に対して220円となる)など、デメリットもあります。近隣市町でも廃止の方向が多い中、逆行しているなどの

意見もできました。結果、現状維持という意見に落ち着いています。

## 青色防犯灯の 取り組み

新しく始まった防犯対策の青色防犯灯ですが、人体への悪影響を懸念する意見が出ました。町外では、集落内を全部青色防犯灯にしているところもあるとか。人体への影響の功罪の調査が必要と担当課に求めています。

## 町施工1・3 キロが完了

平成14年度より始まった、水上・多可線整備事業は、町での施工分が18年度をもって完了しました。

トンネル本体工事等、残りの部分は県で実施していきます。

## 地域交通を 生きたものに

鉄道がないこの地域では、今後も交通弱者が増えていくことも予想されます。コミュニティバスなど、存続して欲しいのですが、事業の8割も赤字を出し、国・県にその8割を負担してもらっているのが現状です。

デマンドタクシーや、乗り合いキャラバン、福祉タクシー等の工夫で、現状を好転させることが課題です。

## 宅地分譲地 柔軟な考え方で

加美区13区画が残っています。売り出し価格のm当たり単価を下げて売ることも検討しましたが、虫食い状態として残る可能性もあります。

今後は、多可町住宅マスタープランに基づいて住宅建替用地として検討していきます。



チップボイラーでお湯を沸かします

## 木質バイオマス エネルギー促進事業

青年の家・温水プールのチップ利用設備工事や、供給施設工事、燃料製造設備工事などです。

しかし、これまで、風倒木の処理があったので、材料の集積に困らなかったのですが、今後はどのように調達していくかが課題です。

また、チップの販路拡大については、県を含め検討しています。

## 家賃滞納に 減免措置を

近年リストラなどによって所得が急激に減少した入居者や、その他の要因で、町営住宅家賃の滞納が増えています。

「理由はいろいろあるだろうが、家賃滞納世帯に対して、強制退去も辞さない強い姿勢での家賃収納を進めるべきである。」との意見がありました。と同時に、町営住宅家賃の減免制度の創設が必要との意見も出しました。

## 地元負担の 考え方は

地元要望による町道の改良、修繕事業にかかる地元負担ですが、ほとんどの路線が20%負担となっています。

地元負担が加重なものとなっていないか。また県道払い下げ路線を、町道として抱えている地域もあります。これらについても一律20%負担かとの質問がありました。

担当課より「道路管理者として、安全安心に走行できるように緊急を必要とする箇所の改良修繕等については、町費100%で対処しています。県道払い下げ路線等については、今後の検討課題です。」との解答をいただいています。

## 賛成討論

### 財政運営の効率化・健全化への努力を評価 大西 一好

地方自治体のおかれている厳しい財政状況の中、自主財源をはじめ依存財源の確保に努力し、歳出においても管理費の節減に努力の跡が見られ、財政運営の効率化・健全化に向けての取り組みがうかがえます。結果として実質収支で1億8,650万円の黒字を生み、初の通年決算として評価できます。

### 暮らしを守る施策は今後も継続を

辻 誠一

先ほど縮減せよと指摘された、福祉タクシーチケットや非課税独居老人を対象とした上下水道基本使用料の免除制度は決してその役割を終えていません。

政府の悪政のもと暮らしを支える施策を守り発展させる事を今後とも町政の基本に据えるべきです。

## 反対討論

### 民生費、社会福祉費に疑義

安藤 弘道

合併浄化槽・コミプラ助成に30人、しかし水道・下水道助成には桁違いに多い267人。措置の仕方に問題あり。

福祉タクシー助成事業も当初想定の使用法が崩れています。規範・基準を明確に整理し、応益応能の基本は毅然と守るべきです。義務責任がないがしろにされる都会型思考の拡大は、阻止すべきです。

# 補正

## 敬老会を にぎやかに

○敬老会の会場設営委託料として14万5,000円増額します。参加人数に合わせ、文化会館階段席の会場をフラットにします。

○70万円で購入します。八千代区貴船駐在所を建替えるための用地です。

○総合福祉センターの給湯器が故障してお湯が出なくなりました。そのための修繕費として63万円追加します。

○おもいで荘は老朽化、林泉荘は落雷で電話が故障したので、修繕費として98万5,000円増額します。

○文化会館の修繕費として、143万4,000円増額します。8月22日の落雷でキュービクルが故障したための修繕費用です。

○中町中学校ソフトボール部が全国大会に出場するため、特別補助金として31万5,000円を増額します。

## 監視を強化

○監視カメラ使用料として12万5,000円を増額します。監視カメラのリース料です。町境付近への不法投棄を防止するのが、主な目的です。

中区・加美区はすでに設置しています。

不法投棄の予防を強化するためにも、未設置の八千代区に監視カメラを設置します。



大きな目で見ています

○八千代公民館の改修工事として、160万円増額します。ボイラー室天井の、ロックウールの飛散防止初期工事の費用です。



見やすいモニターで

## レントゲン機器を 最新のものに

○松井庄診療所のレントゲン機器をグレードアップさせるため、300万円を更新します。財源は診療所施設整備基金をあてます。

○間伐搬出助成事業として、200万円増額します。

従来加美区のみ助成事業を、全町に拡大しました。そのため需要が増えました。そのための補助は3,000円です。

## エアレーベン八千代が リニューアル

○エアレーベン八千代の改修工事設計料として50万円、工事費として870万円を追加します。内700万円の財源は市町村振興協会市町交付金(宝くじ割り当て分)です。

旧八千代町の伝統産業である凍り豆腐の継承、また、地元農産物等の販売を通じ、都市と農村の交流、農業振興を進めることを目的に設置されました。建設から10年経ち、今回リニューアルします。



冬でもお買物がしやすくなります

## 9月補正予算

款		補正額	補正後の額
一般会計	総務費	1,678万円	15億7,322万円
	民生費	939万円	24億7,118万円
	衛生費	243万円	8億9,678万円
	労働費	550万円	5,745万円
	農林水産業費	5,191万円	13億6,246万円
	商工費	△300万円	2億1,072万円
	土木費	3,480万円	11億7,615万円
	教育費	503万円	11億7,615万円
	災害復旧費	0	8,085万円
	諸支出金	5,011万円	1億8,499万円
8 特別会計		1億4,954万円	89億0,871万円

**問** 生活ホーム整備補助金750万円の内訳は。  
**答** これは八千代区の障害者施設「あすなろの郷」が中古の生活ホームを購入するための200万円と、建物の改修費などです。

**問** 県職員への負担金が32万6,000円もありますか、これは何ですか。  
**答** 県の職員に税金の徴収の指導をしていたとき、徴収方法を学び、研修を受けます。そのための交通費などです。整理回収チームを組んで、差し押さえも視野に入れ、滞納削減に取り組みます。

**問** 集落営農組織加速化事業の330万円余りがなくなり、新たに集落営農担い手レベルアップ事業補助金が840万円余り追加になりましたが、その違いは。  
**答** これは、集落営農の強化を目指し、田植機や大型のトラクターなどを購入するための補助金です。

**問** グリーンガーデン実践事業補助金10万円の内容は。  
**答** 県の環境教育の一環です。幼稚園期から、自然にふれさせようとするものです。

今年度、実施園は中町幼稚園で、園の中はもちろん、園の外でも自然にふれあっています。  
**問** 職員宿舍借料20万4,000円は。  
**答** ALTの今までの宿舍が立ち退きのため使えなくなり、新たな住居が必要となりました。そのための費用です。

**問** 生活関連備品として、新規に40万円増額されていますか。  
**答** ALTの新しい住居の生活用品クーラー・テレビ・洗濯機などの購入費用です。

**問** 鍛冶屋停車場線の道路整備に2,020万円が支出されていますが、通行量も少なく緊急性のないところになぜ今16m幅道路があるのでですか。  
**答** 都市計画道路で事業実施に入っており、工事途中での中止はできません。



工事はゆっくり進んでいます

### 賛成討論

注文をつけての賛成

高澤栄子

障害福祉では生活ホームの整備事業補助金など賛成する部分もありますが、エアレーベン八千代の改修工事920万円、大和地区活性化施設特別補助金700万円は、査定内容もはっきりしないし、施設の増築や改修が即集客数の増加に結びつくものとも思われません。該当する基金も残りわずかです。

### ALTとは

日本の学校で、外国語授業を補助する外国語指導助手のことです。英語が主です。多可町では、中学校での勤務ですが、小学校にも行きます。

# 人事

人権擁護委員

森脇正昭さん（八千代区門田）の推薦に同意しました。任期は3年です。

（加美区山寄上）



## 指定管理者

多可町の公の施設の指定管理者が決まりました。

施設名

清嶋地区集落営農施設

指定管理者 山寄上営農組合

指定期間 平成19年9月10

日～平成29年3月31日

# 工事請負契約

公営住宅野口団地（2工区）

建替工事（変更）

法面が高く危険なため、柵を設置します。電気工事もまた追加します。

契約金額

1億2,746万1,600

円

請負業者

西脇市 和以貴建設株式会社

工期

平成19年9月30日まで

安心して歩けます



もうすぐすべて新しい住宅になります



奥中団地Ⅲ期建替工事（1工区）

奥中団地の建替えは、Ⅲ期に分けて建設し、最終のⅢ期工事になりました。

1工区は1戸建て（3LDK）を4棟建設します。

契約金額

6,195万円

請負業者

中区 ㈱総合グリーン

工期

平成20年3月31日まで

奥中団地Ⅲ期建設工事（2工区）

2工区は、2戸連結（1戸は3LDK）を3棟、6戸分を建設します。

契約金額

7,560万円

請負業者

西脇市 ㈱西山建設

工期

平成20年3月31日まで



# 条例

・多可町林業振興基金条例を制定しました。

北はりま森林組合からの寄付を財源とし、林業振興基金に積み立てをします。  
林業振興基金は、将来の林業活性化を目的とするため、各種林業施策に使われます。

## 反対討論

剰余金は森林組合で

プールすべき

高澤 栄子

森林の保全・育成という意味では必要な条例だと思いますが、基金の原資は森林組合の剰余金がベースであり、本来は組合で処理されるべきものです。町で基金を積んでもおのずとその使徒は限定されてきます。それに、本基金は用をなし終えたとして、合併時に一度整理されてもいます。

## 賛成討論

森林再生は喫緊の課題

河崎 一

山林が約80%を占める当町にとって、森林施策は緊要であります。森の大切さを皆で知っていかうという活動も重要です。地域を挙げて取り組んでいく必要もあります。将来の森林保全、森林の活性化に備え必要な基金造成です。

ラベンダーの香りいっぱいの施設に



### 育苗販売加工施設建設工事

加美区に建設中のラベンダー園に、山村振興等農林漁業特別対策事業の認可を受け、ラベンダーの育苗販売加工施設を建設します。

総床面積365㎡で、育苗室・加工室・販売コーナーや倉庫・トイレ等を備えた施設です。

請負金額

8,492万4,000円

請負業者

加東市 榎平尾工務店

工期

平成20年3月31日まで

大河丘陵ラベンダー園・大河農村公園第2期整備工事

ラベンダー植栽地の土壌改良と整地を行い、来年6月開園をめざします。

請負金額

8,074万5,000円

請負業者

加美区

日本機動建設㈱ 多可営業所

工期

平成20年3月25日まで

### 公募型指名競争入札とは

入札行為の談合が、自治体に多大の損害を与えています。談合を防ぐためにも、幅広い事業者を対象に入札ができるようにしたものです。

あらかじめ入札の概要や、参加条件について公示した上で、入札参加者を募集し、希望者の中から入札参加者を指名する制度です。今回の入札も、公募型指名競争入札で入札を行いました。

## 総務

図書館、

もう手狭に！

7月23日

\*教育委員会・多可町図書館

館の現状報告を受け視察しました。平成18年度貸し出し図書実績累計は15万9,600冊、月平均1万3,300冊で、書架、閉架書庫、学習室がすでに手狭になっています。書架は更に上段に重ねられますが、天井が低いためすごい圧迫感に息苦しさを感ずっています。

空き部屋の小会議室を学習室と一体化させ、壁際に書架を置けば当座はしのげます。

書庫は恒常的に狭く、工夫とアイデアがいろいろあります。



手狭な図書館ゆとりがほしいです

意識無くして行動無し！

8月7日

\*小野市行政視察

全国に名を轟かす小野市の行政改革を視察しました。

民間企業の部長から転じた市長の激しい改革は職員との摩擦があるにしても、市民の支持によってますます効果をあげ、市の活性化につながり、人口は伸び続け、加西市を追い越しています。

「理念無くして改革無し、意識無くして行動無し。行政も経営。」を基本理念に、市民を顧客に見立てた市長方針の明確化。管理システムを確立し、結果評価を点数化しています。

滞納を無くしたい

8月27日

\*税務課

某集落において各種税・料金の滞納が顕著であり、特定の人が多く、滞納していると吹聴しているとの怒りの声が寄せられています。

県職員とのチーム編成により差し押さえ等を含め、徴収に努力します。

\*企画情報課

2年後のケーブルテレビ全町整備に、更なる効率的手法を求め、民営に近しい安上がりな方法に決定しました。

## 厚生

災害に備え

万全を

7月13日は、町から明示のあった

八千代区大屋で昨年発生した土砂災害に対応して、提供してきた避難所家賃補助の打ち切りの是非を検証するために現場視察に行きました。

この箇所の復旧工事は、国や県の迅速な対応もあり視察時点で第一期工事がほぼ完了していました。

避難所として町営住宅を提供し、その家賃の一部を補助してきたのは、梅雨時の大雨や台風上陸に伴う新たな災害を懸念してのものでした。

視察現場で受けた県の担当者からの工事の概要説明などを参考に、家賃補助打ち切りの是非を協議した結果「妥当である」との結論に達しました。

7月31日は、社会福祉協議会が車庫建設を予定している用地について協議しました。

これは加美区と本部にそれぞれ屋根付きの車庫を、社協の費用で町有地に建設したいとの申し出を受けたものです。

委員からは、建設費用全額を社協が担うことに異論もありませんでしたが、建



復旧工事が完了しています

設用地を提供することには委員会として同意しました。

また、八千代診療所で検討していました院外薬局について、開設の意向を示されている薬局から、診療所用地内の60㎡を町から買い受けて開設したいとの意向がありました。

委員会では、住民の利便性も考え申し出のあった施設用地の一部を売却するように対応を求めました。

8月10日は、学童保育所を視察し、現況を把握しました。

通所児童の増加傾向にある加美区・八千代区では施設面での改善点もあり、今後委員会で検討を重ねていきます。



## 産業 建設

### 産業振興課

- ・多可町林業振興基金条例について 北はりま森林組合18年度決算の剰余金の一部を寄付という形で積み立てます。
- ・清嶋地区集落営農施設に係る指定管理について

指定管理者：山寄上宮農組合・・・  
今議会で議決

- ・大河丘陵ラベンダー園 大河農村公園第2期整備工事
- 粗造成を整地するのが主な工事です。階段工、園路工、安全柵などです。
- ・育苗販売加工施設建設工事
- 平屋・片流れ 建築面積434・45㎡

物産品販売室、加工室、育苗施設などです。

### 上下水道課

- ・下水道事業
  - 三原浄化センター機能強化事業
  - 供用開始8年、アンモニア、硫化水素により腐食をきたしています。これについての調査、実施設計業務委託。
- 多可町下水道基本構想等策定業務



大河丘陵活性化施設（加美区轟）

### 委託

- ・簡易水道事業
- 山寄上、棚岩浄水場緩速ろ過池覆蓋工事設計業務。辺地債で対応します。

多可町水道ビジョン策定業務委託施設の統廃合に向けて（目標年次平成28年）

### 建設課

- ・奥中団地
  - 工事請負変更契約議案では請負業者の清水組（加西市）が倒産したため、残工事を新たに入札しました。
  - ・野口団地、第2工区建替工事 約146万円を増額します。
- 変更の主な内容は、電気工事および危険箇所転落防止柵を施工するものです。

## 行政 改革

### より透明性の高い

### 入札制度改革へ

本町では平成13年度の「公共工事の入札、契約の適正化の促進に関する法律」17年度「公共工事の品質確保の即任に関する法律」の施行を受け透明性公平性競争性を確保するため、公募型一般競争入札の導入により、その確保にあたってきましたが、9月より新たな一般競争入札制度が導入されます。その詳細を調査しました。

### 「主な変更点」

- ① 一般競争入札の導入・拡大
  - ② 指名競争入札を縮小
  - ③ 総合評価方式の導入
  - ④ 談合等不正行為者に対するペナルティの強化
  - ⑤ 入札関係情報公表の推進です。
- 併せて現場技術者の登録制度を導入し、無理な入札を排除する。例えば、2級土木施工管理技師は1000万円までと設定。官公庁発注手持



一般競争入札実施要綱

ち工事リストをチェック。公告日を定期化し、公告情報の迅速化をすすめます。

- ・入札参加者審査会を開催し候補者に対し審査を実施する。配置予定技術者の手持ち工事状況の審査・多可町における工事成績点を評価（不良工事の発生はないか）など、入札結果をHP・町広報で公開します。
- ・従来の「価格のみ」による入札判断から、今後は「品確法」による「総合評価方式」の早期導入を進めます。また、施工完遂能力がない「不良入札」が想定されるので、「与信調査制度」の導入等効果的システムによる「不良入札」の排除に努めていくとの考えを確認しました。

## 川床整備、 管理者責任で減災を

### 河川管理を徹底する



安藤 弘道 議員

多可町にある清流の河川、大まかに七つの川、大よそ80km、土砂が堆積し、葎が茂り川床を30〜50%近く押し上げているように思える所が随所に見られる。  
増水時には水面が盛り上がり、



災害を未然に防ぐためにも整備を早く

り、波を打つての流水には恐怖を覚える。

近年局地的に過去に例を見ない突発的災害が増えたように思える。管理者責任において、川床先行整備で減災に努めるべきと思うが。

### 町長

多可土木が河川管理に当たっており、堆積土砂は10%程度だと聞いている。町も一体感を持って任に当たらなければならぬ。

### 建設課長

多可土木では毎年濁水期に土砂を採石している。広範囲にわたるので、優先順位を付けて撤去している。近年森林の荒廃が進み、雨により急激に土砂が河川に流出する。災害を予想しながら、県と町で日常の点検をしていく。

### 安全面も

### 申し送られたか

安藤 指定管理者制度が施行されて1年。施設の安全管理面に不安の声を聞く。悠遊館、屋外石油タンクに腐食の懸念。防護壁はあるが筒抜けの状態、公共の施設にも同様の状態が見られる、点検を。管理者移行後、管理者との意思疎通、連携は十分されているか。上がる要望に対し、回答に時間がかかり、機を逸すると不満の声もある。

### 気を緩めることなく

### 日常の点検を

町長 建築基準法により3年に1回の定期検査は管理料に含め措置している。しかし、目視による日常の点検が必要であり、再度指定管理者への安全面での徹底を確認したい。

また、管理者との意思疎通、連携、要望等については、迅速な対応を心掛けていきたい。



廣畑幸子議員

# 小さな子ども向け 遊具の設置を

## 安心して遊べる環境を整備

町内には、50カ所以上の場所に遊具が設置してある。しかし、設置してある遊具は、ほとんどが大きい子向けの物。4歳児未満向けの物はとても少ない。

すべり台やブランコでは、大きい子向けの物は、高さの面など、不安材料が多い。設置場所は、町内いろいろな所にほしいが、まずは遊具の減っている「中央公園」に設置できないか。

遊具の管理は大事なことで、ノウハウなどの指導も必要では。

### 町長

町内で大きなお子さんが遊べる遊具は確かに多いが、4歳未満のお子さんの遊べる遊具は把握しているだけで5、6カ所くらい。小さなお子さんの場合、親が随伴することが

前提のものもあり、たくさん作ればいいのだが、少子化の中、子どもの数と遊具の比率を考えると、ある程度の集中は止むを得ないと思う。今後の公園整備計画の中で指摘の点について検討する。また、集落からの要望があれば、助成事業を活用できればと思う。



数少ない小さい子向けの遊具

## 空き施設の 有効利用を早急に

廣畑 第1回定例会で、合併後の空き施設などの有効利用の質問をした。

町長は、「長期を見据えた方向で、施設の統廃合、また地域協議会の課題として、有効利用などを検討いただきたい」との答弁だった。しかし、約2年になろうと

しているが、保健センターの利用があまり変わっていない。加美・八千代保健センターとも、通常月数回の利用しかない。「子育て学習センター」として活用するなど、有効利用をすべきでは。

### 思い切った決断も 必要に

町長 2年間の計画の中で、1年目に庁舎等のあり方を検討いただき、2年目の今、公共施設の検討をしていただいている。

間もなく出る回答の中で、有効利用できるものは使用し、不用なものについては取り壊しも考えなければいけないと考える。

公共施設は、これから量より質の時代に入ってくる。機能を転換していくことも重要である。

## 合併特例債の状況は

### 確実な事業実施のための協議を重ねる



玉臺正明議員

加美区川東線と、山野部大屋線の事業について、昨年6月の定例議会で質問し、町長より答弁をいただいているが、その後大きな動きがないように思う。合併特例債の活用によるこの路線のその後の進捗状況と、事業の財源となる特例債など国、県の対応と措置の状況。またこの2路線の調査費はいつの時点で予算化されるのか、具体的な計画と明確な答えを聞かせて欲しい。

### 町長

川東線は中区で整備計画を延長し、中区の外環状道路として有効であると提言いただいている。本年度に整備延長の申請をし、実施時期を平成20年度～27年度と計画している。

(仮)山野部坂本線も、20年度～27年度の計画で、来年



急に狭くなる6号線（八千代区中野間）

度はルート決定のための設計および測量調査の実施を計画したい。

国県の財政状況が大きく変わり、県と十分打ち合わせをしながら確実に実施したい。

### 道路行政を

### 積極的に

### 玉臺

八千代区の継続事業6号線は、現在八千代地域局前までは整備されている。この道路は町道俵田仕出原線に接続する工事が合併後の懸案事項として依然残されたまま。特にこの計画路線は、八千代区中心街の代替道路としても重要な役割を果たすも

ので、その整備促進は住民の悲願である。

また八千代区柳山寺から加西市へのトンネル化は、大和地区の皆さんにとっては50年来の悲願であり、合併前からの強い要望であり、積極的な答弁を聞きたい。

### 三室バイパスは

### 県が実施予定

### 建設課長

合併により北播磨地域社会基盤整備プログラムが17年度に見直され、それまで登載されていなかった三室バイパスが登載され、今後県が道路整備をすることになった。

実施時期は確定していないが、20年度に事業評価を受けるため、県土木において交通量調査も実施された。今後は整備のための応援をしていきたい。

また、加西へのトンネル化については、北播磨ハイランドふるさと街道の総会にて、提案させてもらうことで加西市とも合意している。



大西 一好議員

## 人権意識の高揚を

### 自己の問題として取り組む

二度の大戦を通して人類は「平和のないところに人類は存在しない」という大きな教訓を得た。わが国固有の「部落差別」の問題は、憲法が保障する基本的人権にかかわる深刻かつ重大な問題である。

①合併後の人権課題についての取り組みは

②本年6月に住民生活課窓口での差別事象について解決の進捗状況と今後の取り組み

③人権尊重社会に向けての社会教育と学校教育との隘路あひだをいかに埋めるか。

### 町長

①町民の集いをもち、人権啓発協議会では地域、学校、企業という形で活動をしていただいている。また全ての集落で住民学習も行っている。

②全ての職員が職員研修に参加し、現実をオープンにし協

議した。住所変更されたが、どこにいても差別は許さないといい形で啓発していく。

③教えなければなくなるでなく、差別の歴史を学校や教育の現場で正確に伝え、明らかに示す姿勢が大事。生涯学習の場で、自己の研鑽を高める。

### 障害者基本計画の

### 具現化を

大西 支援費制度から自立支援法へと改正され、実態を無視したため矛盾が噴出「改善策」を出す中、①3障害の過去3年間の実態と、障害者の概念外におかれていた障害者の実態は②精神障害者授産への町空き施設提供について③基本理念を具現化していくためには「地域力」が必要であるが、手立ては④働きたくても働く場がない、実現の組織化は⑤障害者自立支援法の矛盾改善策で影響を受けた人数は。

### 障害者への支援体制

#### 健康福祉課長

①3障害で1,589人、3年間で184人の増②精神障害者の方についてはNPO法人白ゆり会が対応されており、西脇市と連携し、調整する。③障害者福祉への関心を高めるため講座や講演会を開催し、福祉

への参加を呼びかける。④事業主への啓発、関係機関との連携で職場体験、ハローワークによる職場適応体験訓練など活用。⑤利用者負担の軽減事業者に対する報酬の保障のための緊急的な経過措置である。



手ごろな空き民家が見つかりました

## 医師確保対策の 実施を急げ

### 重大な課題慎重に対応



辻 誠一 議員

昨年の暮れに日赤運営委員会での論議を前提として3月20日開催の地域医療フォーラムで町長が発表した医師確保の対策は、未だに議会に上程もされていない。

現在、整形外科医や小児科医は町の姿勢を歓迎し、万難を排して町内での開業に向けて準備を進めているし、日赤が当面の急場をしのごくためにスポット医師を確保するためにも必要な施策である。いつ成案をつくるのか。急ぐ必要があると思うが。

### 町長

慎重に対応させていただいているというのが現状である。

地域医療確保対策協議会で医師確保および地域医療の確保に向け、町はできるだけ支援をしていくこの方向性は既に出ている。中町赤十字病院に

あっても、昨年度より常勤医が4人も減少し、新たな医師確保が非常に厳しい状況である。

中核病院の問題もあり、より慎重な対応になっているとこのことで理解願いたい。

## 医療を受けられる 権利を守れ

辻 来春75歳以上の人が

移行する後期高齢者医療制度では年金の月額が1万5,000円以下の人も約1,000円の保険料の支払いが必要である。

国保は、法第9条3項の規定により75歳以上の世帯が保険料を滞納しても、資格証の

発行を禁じているが、後期高齢者医療制度にはその様な規定はない。県後期高齢者広域連合議会において、資格証の発行を禁止する条例の作成が必要である。副町長からは非連合議会に提案を。

## 国の基準を待ち検討

副町長

後期高齢者医療制度の短期証、資格証明書の交付は、3月の兵庫県後期高齢者医療広域連合議会臨時会ではその規定はなかった。

継続して実務者会などで具体策を検討中だが、まだ政省令が施行されていないため、国の基準が決まっていない。広域連合としては、国の基準を前提として、構成41市町の事情も考慮し、整備していく方針である。多可町も広域連合の方針により施行することになるが、現在は検討中である。



子どもたちに明るい未来を





高澤 栄子 議員

## 委託事業(指定管理者制度)に 事業評価を

### 必要度、緊急性にあわせて

昨年11月から、行財政改革の一環として指定管理者制度を導入、公の施設の管理運営を民間会社や団体に委託しているが、はたして財政が削減されているのか、住民サービ



環境にやさしい生ゴミ処理機

又はよくなっているのか。指定管理者制度に移行したから終わりではなく、次回の指定管理者の選考時にも参考になるような業務評価システムを作っていく必要があるのではないかと。中・加美・八千代業務委託形式が異なっているのでなおさらだ。

### 総務課長

指定管理者制度に移行して1年であり、さほどの効果が上がっていないように思う。現在、これらの施設の業務評価は、事業評価・事業報告書で翌年度の指定管理料に反映させている。

委託事業を含め、事務事業全般に事前の事業評価、行政評価が必要であり、民間委託も含め行政のスリム化を行う。また、他市町の取り組みを参考に、本町に最適な業務評価制度を作っていきたい。

### 生ゴミ処理機・容器購入の 助成金制度導入を

高澤 住民の日常生活に密着した環境問題である「ゴミ」。みどり園でもこの4月から生ゴミとプラスチックゴミの分別化が本格的に始まっている。

また、当町では「バイオマスタウン」めざし、その計画の策定に取りかかろうとしているところであり、「ゴミの減

### 来年度モニター制 導入へ

町長 昨年は、みどり園と調整をするということと検討課題としていた。しかし構成市町で補助金制度を導入される場所があり、みどり園としての見解の統一ができなかった。

そこでみどり園とも協議し、周辺各地の補助金等を参考に、処理機のメリット、デメリットも考え、平成20年度は試験的にモニター導入することで、30機程度を予算化できればと考えている。

## 歴史遺産と 観光資源の活用を

### 多可町の観光資源全体で考える



議員 幸澄 脇門

①野間山城跡と光竜寺山城跡の登山道の整備と開発を。  
②都市と農村の交流を進めるため200人以上の待機者のある滞在型市民農園の増設を考えてはどうか。



収穫の秋をむかえる入居の人たち（フロイデン八千代）

③聖徳太子の師で「仏教伝来の祖」である恵井ゆかりの旧安海寺跡等の史跡整備を。  
④「コープこうべふるさと村やちよ」の来年3月の閉鎖後、施設の活用を町として公民両面から考えてみてはどうか。

### 町長

①行政でなく住民の力で保存活動、振興計画ができることを希望したい。  
②国費がかなり入るなか、受益者の固定がいいのかどうか。黒字なら民間の導入も考えられる、慎重に対応したい。  
③町内には他にも史跡がある。多可町の歴史街道の中での観光戦略が取れるのではないかと。多可町が受けて赤字につながっていくことも考えられる。逆に町内の施設をコープこうべに利用してもらえよう努力し、関係を大切にしたい。

### 三室バイパスの 進捗状況を問う

門脇 八千代区の県道143号線は道幅が狭いため歩道もなく、交通量の増加により通勤通学の安全が脅かされている。

また中野間地区の野間川東側の町道6号線は、旧役場前で急に道幅が狭くなっている。その緩和策として、これを北

に延長する三室バイパス案が昨年、県の社会基盤整備プログラムによりやく認定された。長年の八千代区住民の願いである三室バイパス計画の進捗状況と、町の積極的姿勢を問う。

### 協力し整備着手を

#### 建設課長

三室バイパスの整備は、地元でも実施時期に賛否はあると思うが、町として必要と考え、進めていくと動いている。今年、県土木では交通量調査をしたが、20年度確実に道路整備が実施されるかは確定できない。

今後、県の事業評価委員会に諮り、知事の認可を得れば整備着手となる。

経過により、事業主体が多可町から県土木に移り、方向が変わったことを理解願いたい。町としても、できるだけ協力しながら進捗に努めたい。



池田 義孝 議員

## 制度の本意を糾せ

### 徹底した見直しも必要

- ① 一年経過の指定管理制度
- ② 管理料を当てにして独立性に欠ける施設がある。制度の理解を徹底すべきと思うが。
- ③ 順調な施設とその理由。順調でない施設の処置はいかに。
- ④ 管理料でくい止めている施設への対応は。
- ⑤ 町職員が理事長等を務める施設は町からの援助や補助を当てにしすぎる。対応は。
- ⑥ 当て職ばかりで組織を構成する公社等は運営が他人事になり、結果の責任を取れるとは思えないが、どう考えるか。

### 町長

① 合併時期と重なり十分な準備の中での移行ではなかった。事後、徹底して見直しをする。

② 順調な施設は中心部にあり、経営能力が高いといえる。甘えの構造の払拭が必要。

③ 本来そういう施設はないと思っている。



民間感覚に期待

### さらなる

### スピードを

池田 行革への行動の純さを感じる。

⑤ 大型農家等から敬遠され、町土保全という観点から公社設立に至っている。各役員の方には公社の理念を徹底する。

① 行革推進本部長は集中改革プランの進捗スピードをどう評価するか。

② 小野市と比べると行革への意識も行動も相当劣る。推進への決意を聞きたい。

### 行政改革は

### 避けて通れない

副町長 ① 改革プランは17年度から5年間で、年々厳しくなる財政状況を考えると、スピードを速めることも非常に大事である。

### 町長

② 小野市の取り組みで導入できるものは、多可町版として導入したい。人事の評価システムも参考にしたい。

③ 事務事業部会は入札制度改革、政策調整部会は公共料金等の収納強化、職員管理部会では職員研修の実施など集中改革プランの推進に努力している。公表については時期、方法などを検討していきたい。

③ 三部会の開催状況や個々の進捗状況を聞きたい。状況が良くても悪くても評価をし、改善を重ねるべきである。完璧などありえないのだから、プランが良ければスピードを上げてもらいたい。また住民にも公開すべきと思うが。

## 高齢者に利用し易い 公民館に

使う人に優しい施設を目指す



渡邊喜博議員

生涯学習は住民が自発的にボランティア精神で学ぶものである。高齢化社会を迎えて生涯学習の必要性が急速に高まり、高齢者も多数公民館で学習されるようになってきた。旧3町に公民館が建設され



楽に2階へ上がりたいです

てから約40年が経過した。公民館は研修室の大部分が2階になっている状況から、高齢者や身体障害者にも利用し易いようにエレベーターの設置も含めて、設備改良を検討するべきではないか。

### 町長

高齢者の方の学びの場、社会参加ということが非常に重要になっている今、公共施設の環境整備を進めなければいけない。昨年12月にバリアフリー新法が試行され、全ての人が暮らしやすいユニバーサル社会の実現を目指す。

今、公的施設のあり方を検討中であり、公民館をこのまま使うという方向性が示されれば、エレベーター設置を前提に考える。

議会会議録がホームページで見られます。一度ご覧ください。

多可町ホームページからご覧いただけます。

次の議会は  
12月です

傍聴におこしください。



竹本克之議員

# 林業の担い手を養成

## 後継者を育成し山を育てる

多可町は80%の山林に囲まれ多くの資源がある。この森林を護ることが、地域を護り地球を護ることになると思うが、町長の考えは。

技術者の高齢化が急激に行っている。退職後の場所提供者はないか。

近い将来にその最前線の林内作業者不足が予測されるが、卓越した技能が求められるだけに、基本技術習得に近隣教育施設進学に補助支援またはこの地域に教育機関の設置を考えられないか。

### 町長

多可町の木は良質材として評価も高い。山は木の値打ちもあるが、地球温暖化を考えた側面から、今後高い評価を受けなければならない。

また、林業従事者の技術と経験を継承する取り組みに、



大切な資源を有効に利用しましょう

公的支援が重要だと考える。

現在、山崎高校に森林環境学科があるが、本町からは行っていない。これから宣伝していく、希望者が増えてくるような展開になればと思う。支援については今後の検討課題とさせてもらいたい。

### 杉原紙の

### 紙すき体験を

#### 竹本

1300年の歴史を持ち、宮内庁歌会始の用紙にも採用されている杉原紙は、町の誇る伝統文化資源であり、後世にも伝えなければならぬ。

合併後の加美区以外の方々に、紙の良さを理解。また認

識するには直接に紙すき体験をしていただくのが一番と、研究所員や博物館員・商品開発の関係者は訴えられている。役場関係者を先頭に、全町民の紙すき体験を支援（費用を含めて）する考えはないか。

### 文化財として

### 残したい

#### 町長

杉原紙は白く丈夫で、柔らかい紙である。宮内庁の歌会始にも使われ、文化財としても残していきたい。地元産のコウゾが減少し、供給量に限界があり、加美区でやっていたコウゾの2株運動を、職員や関心を持ってもらえる住民の方にも、参加をお願いしたい。

紙すき体験は500円で決して高いものではないので、住民の方にも体験してもらいたい。生活創造大学やふるさとウォッチング号でも体験をしてもらっている。

## 地域活性化と企業誘致

### 企業誘致を広くPR



細尾 重信 議員

全国各地の農山村で集落が消えている。

この現状を見ると、わが多可町は大丈夫なのか。

町の繁栄には、若者が定住できる住宅の確保と、生活の基盤となる企業の存在が必ずである。

現在企業への町の支援と企業誘致を積極的に推進することが、今後の多可町発展の鍵と思われる。

今後、新規住宅の建設や、企業に対する支援をどのように対処するか。

### 町長

現在、地場産業への支援として

では、直接的な各種融資制度。また、間接的なものとして商工業振興事業補助金、商工会合併推進補助金などを支援している。しかし、地元企業、産業でも民間業者に直接支援

することは難しい。

企業誘致では、広く立地用地の情報を提供したり、区長会に用地として適地がないかお聞きをしている。また、人口定住のため、住宅施策の基本となる住宅マスタープランを本年度末を目標に策定をする。

### 都市と農村の

### 交流は

### 細尾

神戸市垂水商店街でのアンテナショップを、多可町全域に拡大の検討はどうか。

町内3区には、特色ある農林産物(無農薬・減農薬栽培の野菜・青果物・おいしい「こしひかり米」)・工業加工品がたくさんある。

これらをブランド化し、サンプル出品や、特色ある施設などを、多可町観光交流協会との連携で都市住民にPR、多可町への交流人口を増やす観光PRの起爆剤としての拠点とする考えは。

### 交流人口増加の

### 起爆剤に

### 町長

アンテナショップは現在八千代区だけの情報発信に留まっている。多可町として発展させるには、ショップの規模の大きさ・垂水商店街でいくのかどうか・運営をどうするか、など検討課題は多い。継続拡充の方向で、

3つの商工会や観光交流協会も含めた中で検討したい。多可町の観光物産等、特性を都市住民の方々にPRし、交流人口の増加の起爆剤になればと願う。



都市との交流が盛んなアンテナショップ (神戸市垂水区)



大西多津子 議員

# 学童保育に高齢者の参加も必要では

## 地域の協力で子どもをみる

夏休み中の学童保育の視察から感じますことは、現在の子どもたちは、共働き世帯が多く、核家族が多い。

室内で遊ぶことが多い少子化時代にあるための対応が必要ではないか。勉強・宿題は十分指導が受けられているか。毎日の日課として、お手伝いの時間があってもよいのでは。体力の増進、体も動かし遊び、学び、お手伝いの習慣として、お年寄りが得意とされる掃除、草引きも教えていただいては。

### 町長

お年寄りの方と、お孫さんの世代との接触というのは大事だと思う。特定のお年寄りに頼らず、いろんな方が学童保育の場にお越しただく、住民ボランティアの方々が日々お越しただく。



みんな仲よくすごしています

そして、それぞれやっていただける容易なこと、軽易なことを協力いただくといいふうなボランティアの体制を募っていくという形で、措置をするのがいいと思う。

## 日赤病院は 存続支援を

大西 町のシンボルである赤十字病院は、高齢化の町で多くの病院まで対応できない家族が多くなる傾向にある。統合される時代に、広域の中で生き残れる診療科目を考え、特色性のある医師の確保が大切。

## 地域医療における 役割は重大

ホスピス、がん対応の診療科目を重点における、対応できる病院を希望する。  
下駄履きで家族を見舞い、在宅での生活習慣病、点滴を必要とする時、開業医の夜間対応も困難な情勢にあるため、入院を受け入れられる対応が必要ではないか。

### 町長

日赤の地域医療における役割は非常に大きいと考える。多可町唯一の病院として機能していただきたい。医師が減り休診する科があり、その経営や運営について、まず院内でも協議をいただいている。病院の機能をこれからどうするのか、北播磨における病院の統合問題とも関連し、独自性を発揮していただけるよう町として支援していきたい。

# ドクターヘリ活用で 救命率向上を

## 多可町からも要請により出動



清水俊博議員

医師不足による地方の医療過疎ならびに奈良県での妊婦女性のたらい回し事件等、地方における医療格差は広がるばかりと言わざるを得ない。救急データによると①心臓停止時の50%救命率は数分が限度とされている。兵庫県ではドクターヘリの運行により、救急体制が手薄な但馬等、県内全域を対象に救命率の向上に大いに活用されている。大規模災害時は勿論、通常の病院前救急医療にも利用可能である。本町の実績ならびに今後の活用計画を問う。

### 健康福祉課長

ドクターヘリは全国で10都道府県で運行している。兵庫県では神戸に救急ヘリとして3機体制であり、1機はドクターヘリとしても使える。神戸市から多可町まで

での飛行時間は20分以内と聞いている。

日没までの運行時間帯だが、西多可消防本部から本年5件の搬送がすであつた。

救急ヘリは、現場での救急隊長の判断により要請されている。今後必要な場合には要請され、救急医療に活用されるものである。

### 戦略性専門性を持った 企業誘致を

清水 今、企業では景気の回復と併せ、海外への技術流出の危機感の増大、高付加価値製品の国内生産重視など「日本回帰」「地方回帰」の動きがより顕著である。専門性を持ち、しかも画一的でない

新たな誘致戦略ニーズに対応した、適切な情報提供と広報活動を行うことは必須である。アンテナをより高く誘致企業に合致した、より効果的適切な「戦略性を持った誘致PR」など本町の必死な取り組みが今必要である。町長の所信を問う。



活躍する防災ヘリ

### 特性を活かした

### 誘致を考える

町長 今、各集落に工業用地、工業適地の申告をお願いしている。県にも調整指導を仰ぎ、多可町の特性を活かすなど、適切なアドバイスをいただいている。企業立地の条例の優遇措置も見直さなければと考える。

多可町が企業を誘致するキー

ワードは、私的に考えると、水のような気がする。地下水の調査なども含め、踏み込んで企業ニーズを満たすPRにも努めたい。



# 秋まつり

今回表紙にまつりを掲載しましたが、町内各地には、いろいろなまつりがあります。



〈鹿子神社〉 八千代区大屋  
山上田村麻呂いわれの神社。古式豊かな、武者行列が続きます。



〈五社神社〉 加美区豊部  
七つの舞のうち、天狗と獅子のかけ引きがおもしろい神楽です。



〈大歳神社〉 中区高岸  
こども奉納相撲。元気いっぱい「はっけやん」



〈糀屋稲荷神社〉 中区糀屋  
安坂・糀屋・坂本・曾我井・森本5地区の屋台が集まります。



〈善荷興行〉 加美区善荷  
毎年、秋まつりの宵宮に上演します。今年の出し物は、「必殺仕事人」です。

## 議会だより 優秀賞に

第28回兵庫県町議会広報コンクール「優秀賞」に選ばれました。  
入賞したのは、平成18年8月発行の第3号です。  
11月13日、議長会主催の全議員研究会の日に表彰していただきます。



議会広報編集特別委員会

若いママさん、子育て楽しんでくださいね



# さわやか インタビュー

八千代区キッズランド内にある子育てふれあいセンターにお集まりの、「ひよこちゃん」グループの皆さんに、広報委員がお話を聞きました。

**問** みなさんは同居されてるんですか。

**答** 同居は5人で、4人は別居です。

**問** 同居のいいところは。

**答** おしいちゃん、おばあちゃんに助けてもらえるからいいですよ。

**問** 多可町のよいところは。

**答** 八千代では、3歳からキッズの幼稚園に入れます。他の地区は就学前1年だけでしょう。

幼稚園は保育料が安いのでいいですよ。保育所は保育料が高いから。

**問** 子育てふれあいセンターにいられてどうですか。

**答** 嫁いできて知り合いが少なかったけど、ここへ週1回来るようになって、育児の話もできるし、友達も増えてよかったです。

**問** 合併して何か思うことは。

**答** 親が働いているので、私が孫ときてるんですよ。健診についていくとき、アスパル

まで行かないといけないので「不便になったね」と話します。

**問** 他に気づかれたことはありますか。

**答** 以前八千代では、出産祝い金をもらえましたが、多可町になってなくなりましたね。祝い金はうれしかったです。

・ チャイルドシートも買ったら1万円以内で補助してもらえましたが、これも合併してなくなりましたね。

・ 出産祝いにと絵本と手さげ袋を役場からもらいますが、袋はそんなに使わないので、本ばかりの方がうれしいです。  
・ アルバムもうれしいですね。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

今、少子高齢化などが問題になっていますが、ここに来られている若いお母さん方のパワーと笑顔で、こちらも元気になるインタビューでした。

## 編集後記

朝夕、めっきり涼しくなり、秋といながらも暑い日だったのが、うそのような毎日です。

8号は、多可町初めての通年決算、18年度決算を中心に掲載しました。

厳しい財政の中、また先行き不安なことが多い毎日ですが、住みやすい町づくりに、まい進しなければなりません。私たち広報委員は、多可町議会発足時より、議会広報づくりを重ねてきました。

初めは、慣れない記事作成・写真撮影として、インタビューなど苦労しましたが、おかげで、今回私たちの任期中に、編集する最後の8号を発行することができました。

これからは、寒さが増してきます。  
みなさまくれぐれも、ご自愛くださいますように。

